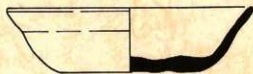


立岡笹山遺跡の調査

—造成工事に伴う遺跡発掘調査—



1999年2月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町立岡字笹山84-1番地他における造成工事に伴う発掘調査の概要報告である。
2. 調査は、平成7年4月12日から20日にかけてと、9月11日から18日にかけて実施したものである。
3. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、海野浩幸が担当した。
4. 調査にあたっては、太子町シルバー人材センターの協力を得た。
5. 整理作業にあたっては、井上道子、岩村千穂、改発法子、中村豊子、藤井昭子、諸石厚子の協力を得た。
6. 本書で示す標高値は、T.P.を基準とした。方位は、磁北である。
7. 遺物観察表の番号は、遺物実測図と一致する。また色調は、日本色研事業株式会社発行の『新版標準土色帖 1992年版』による。
8. 本書の執筆・編集は、三村修次、海野浩幸が担当した。



発掘調査風景

本文目次

例言

調査に至る経過	2
調査の概要	2
出土遺物	7
まとめ	16

挿図目次

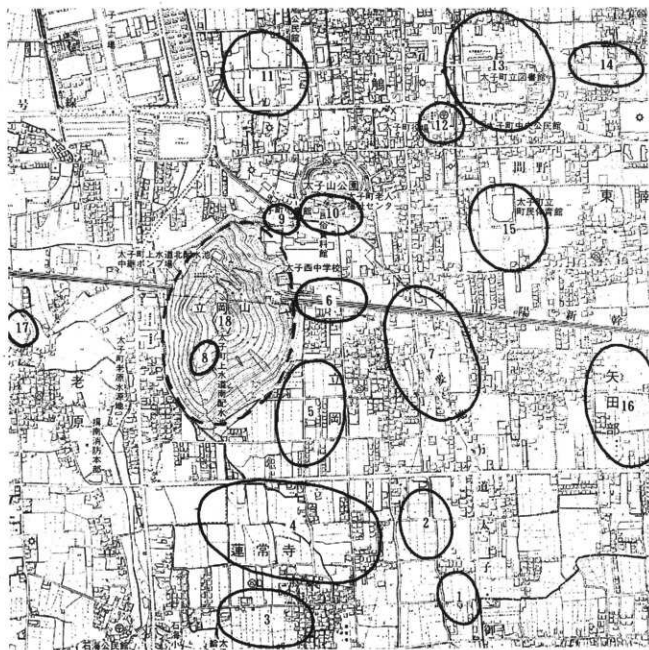
第1図 周辺遺跡分布図		第10図 出土遺物(2)	8
第2図 調査位置図	2	第11図 出土遺物(3)	9
第3図 トレンチ・拡張区設定図	2	第12図 出土遺物(4)	10
第4図 T-7・8・23	3	第13図 出土遺物(5)	11
第5図 T-14・15・17・20	4	第14図 出土遺物(6)	12
第6図 T-21・22	5	第15図 出土遺物(7)	13
第7図 拡張区	6	第16図 出土遺物(8)	14
第8図 掘立柱建物	6	第17図 出土遺物(9)	15
第9図 出土遺物(1)	7	第18図 出土遺物(10)	16

表目次

表1 出土遺物観察表	17
------------	----

図版目次

図版1 上 T-7 (東から)	図版2 上 T-21 (南から)
中 T-8 (東から)	中 T-22 (東から)
下 T-14 (西から)	下 拡張区 (西から)



第1図 周辺遺跡分布図

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 立岡笹山遺跡 | 2. 蓮常寺東遺跡 | 3. 蓮常寺北遺跡 |
| 4. 蓮常寺西遺跡 | 5. 立岡南遺跡 | 6. 立岡遺跡 |
| 7. 立岡東遺跡 | 8. 立岡山遺跡 | 9. 船塚遺跡 |
| 10. 太子山南麓遺跡 | 11. 斑鳩寺南遺跡 | 12. 船石田遺跡 |
| 13. 船遺跡 | 14. 東保高田遺跡 | 15. 東南遺跡 |
| 16. 矢田部遺跡 | 17. 老原遺跡 | 18. 立岡山古墳群 |

立岡笹山遺跡の調査

1. 所在地

兵庫県掛保郡太子町立岡字笹山84-1番地他

2. 調査主体者

兵庫県掛保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課

三村修次 海野浩幸

4. 調査期間

平成7年4月12～20日 9月12～20日

5. 調査面積

380.25㎡



第2図 調査位置図

6. 調査に至る経過

太子町立岡字笹山84-1番地他において造成工事が行なわれることになり、工事予定地の西に隣接する地域では、昭和51年度に兵庫県教育委員会により実施された、カドミウム汚染土地改良工事に伴う埋蔵文化財確認調査において平安から鎌倉時代にかけての遺物と若干の遺構が検出されており、また北西部には周知の遺跡である蓮常寺東遺跡が所在することから確認調査を実施することにした。

調査地は標高9m前後の水田及び畑である。なお、調査地中央部付近は、昭和9年に廃止となった播電鉄道(網干港～龍野～新宮間)の路線敷きになっていたが、現在その痕跡は認められない。

7. 調査の概要

調査は1.5×5mのトレンチを20ヶ所設定して実施し、随時拡張、増設するものとした。その結果、T-7、8で遺構が検出されたため、新たにT-21～23を設定した。

また浄化槽の埋設される部分について、拡張して調査した。

T-7では、耕土直下で黄褐色土の地山となっており、柱穴3個を検出した。

T-8では、土坑、溝を検出した。土坑は幅1m、深さ20cmを測り、溝は幅1.1～1.7m、深さ約30cmを測る。土坑からは土師器の皿・羽釜・土壺、須恵器の碗が、溝からは須恵器の碗・鉢が出土している。

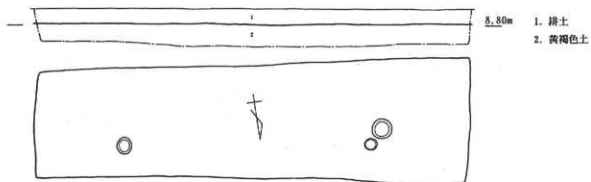
T-21・22では、それぞれ柱穴3個を検出した。

T-23では、溝を検出した。幅1.5～1.9m、深さ約30cmを測り、T-8で検出された溝に続くと考えられる。

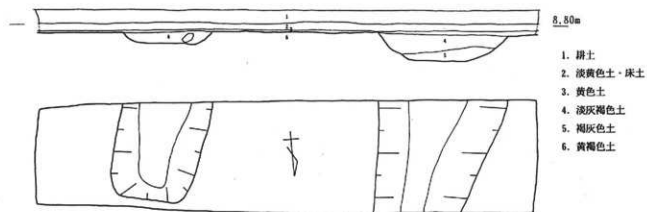
南部に設定したトレンチ(T-3・6・9・13～20)では、褐色砂質土、褐色あるいは灰色の砂礫となっており、T-13～20では旧河道状を呈している。またT-3・6・14～20では布目瓦・緑釉陶器を含む遺物を包含した褐色灰色土の堆積が見られた。



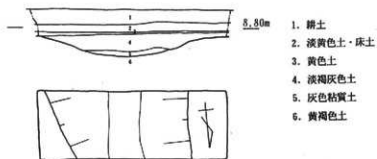
第3図 トレンチ・拡張区設定図



T-7



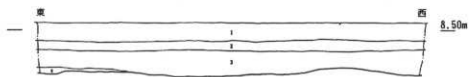
T-8



T-23



第4图 T-7·8·23



T-14

1. 耕土
2. 黄色土·床土
3. 褐灰色土·遺物包含層
4. 黑灰色土
5. 褐色砂



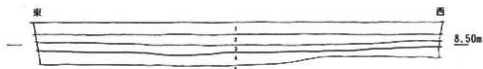
T-15

1. 耕土
2. 黄色土·床土
3. 黄褐色土
4. 褐灰色土·遺物包含層
5. 褐色砂



T-17

1. 耕土
2. 黄色土·床土
3. 黄褐色土
4. 褐灰色土·遺物包含層
5. 黄色土
6. 灰色砂



T-20

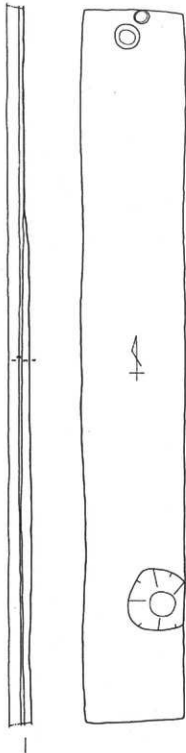
1. 耕土
2. 黄色土·床土
3. 褐色砂質土·遺物包含層
4. 黄褐色砂質土
5. 灰色砂



第5圖 T-14·15·17·20

8.80m

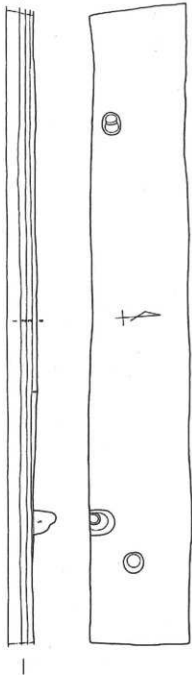
1. 耕土
2. 淡黄色土·灰土
3. 淡褐色土
4. 黄褐色土



T-21

8.80m

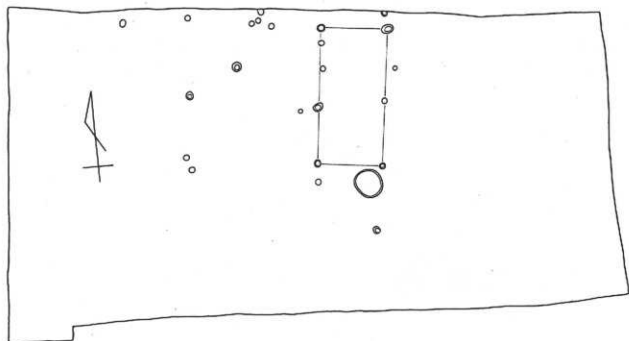
1. 耕土
2. 淡灰色土·白粉土
3. 黄色土·灰土
4. 淡黄褐色土
5. 暗褐色土
6. 黄褐色土



T-22



第6圖 T-21·22



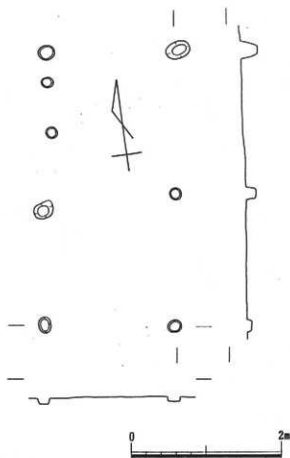
第7図 拡張区

拡張区は浄化槽の埋設により、掘削が深く及ぶT-12周辺部分の10×20mを調査した。

拡張部分において掘立柱建物址1棟を検出した。

掘立柱建物は、1間×2間（1.7m×3.6m）の規模で、主軸はほぼ南北にとる。

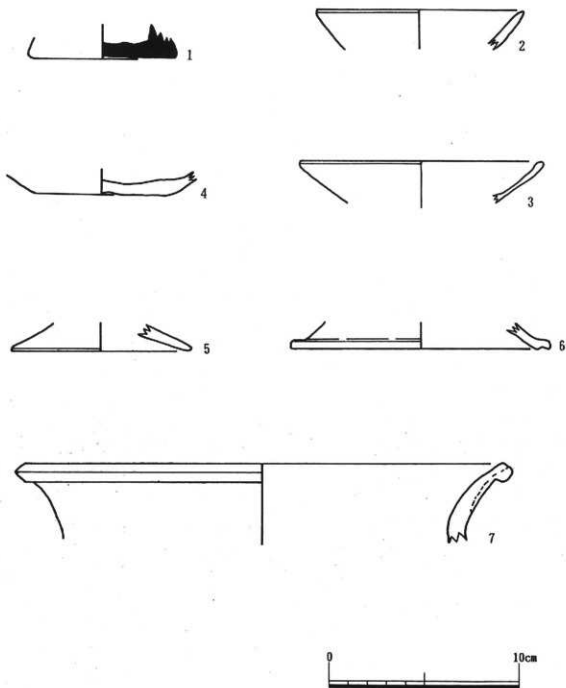
柱穴は径16～30cm、深さ6～20cmを測る。柱穴からは、土師器・須恵器片が出土したが、細片で図化出来るものはなかった。



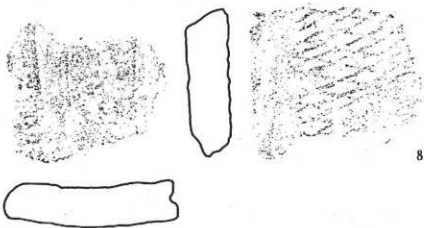
第8図 掘立柱建物

8. 出土遺物

遺物としては、土師器の坏・碗・土埴・羽釜、須恵器の山茶碗・坏・鉢・甕、緑釉陶器、布目平瓦などが出土している。大半が調査南半部に設定したトレンチで検出された遺物包含層からのものである。



第9図 出土遺物(1)

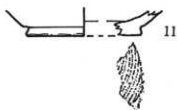


8



9

10

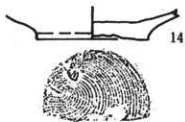


11

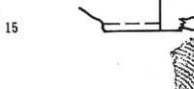
12



13



14

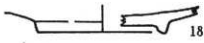


15

16



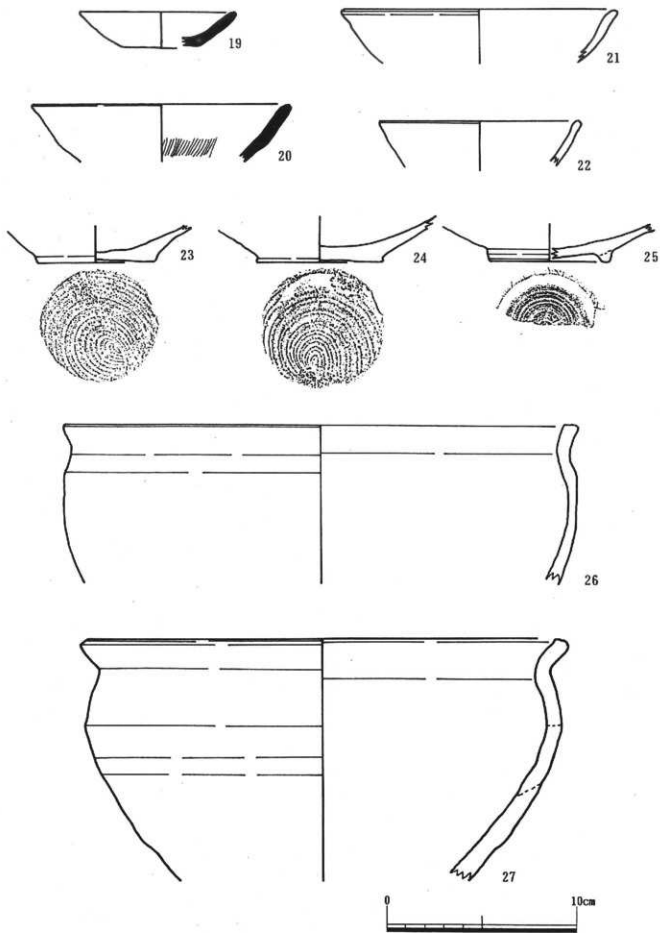
17



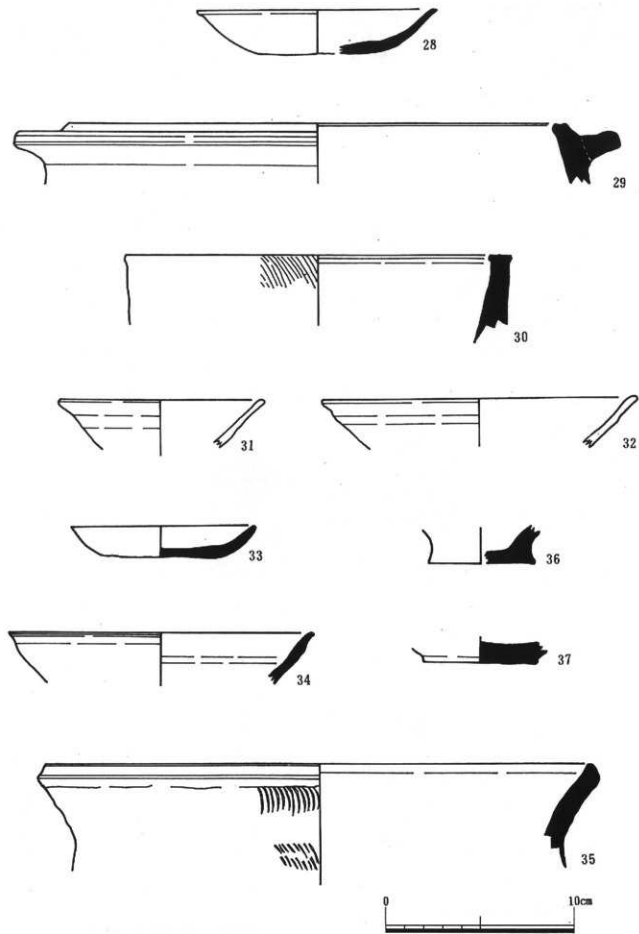
18



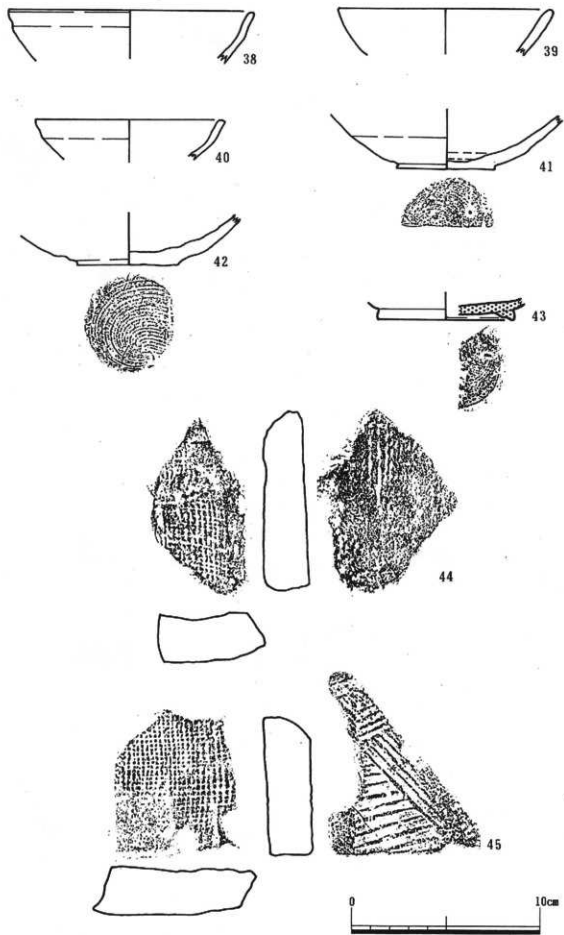
第10图 出土遺物(2)



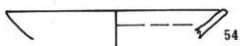
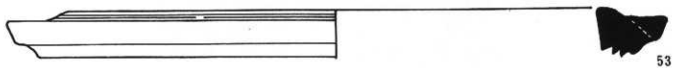
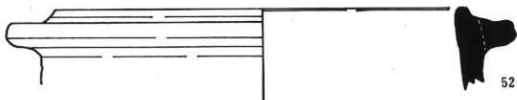
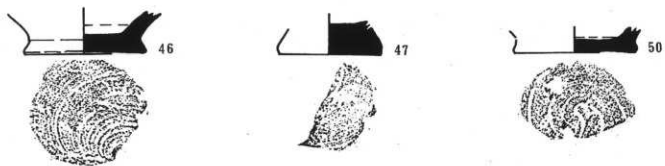
第11図 出土遺物(3)



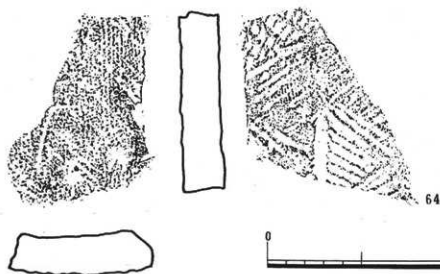
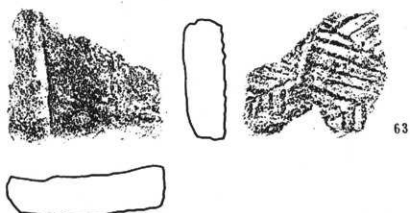
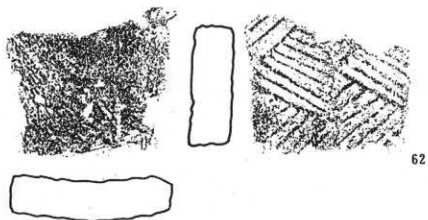
第12図 出土遺物(4)



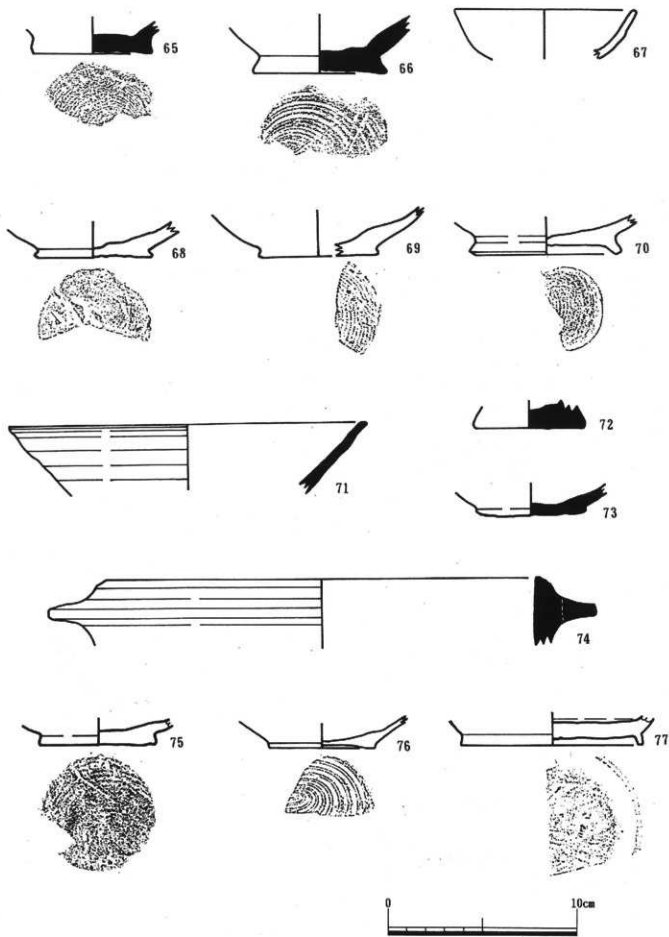
第13図 出土遺物(5) ※43は緑釉陶器



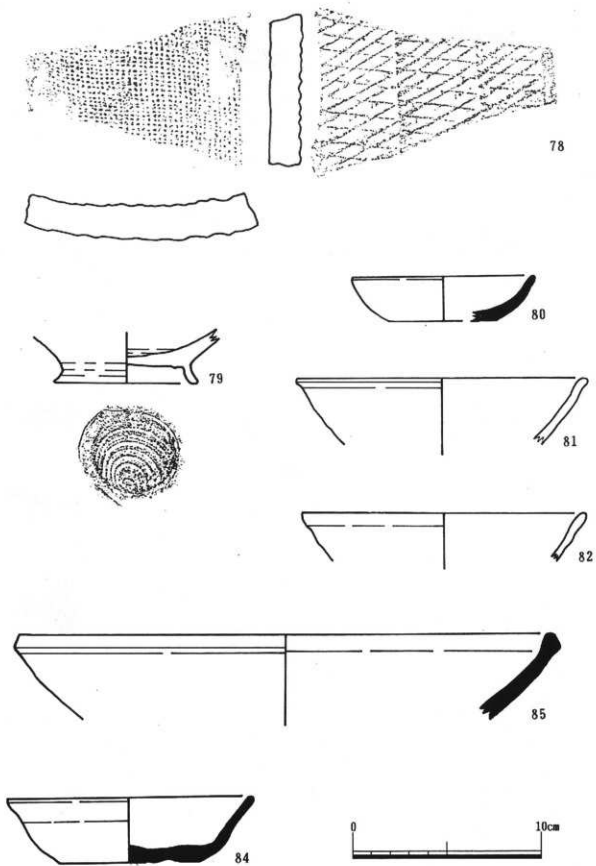
第14図 出土遺物(6)



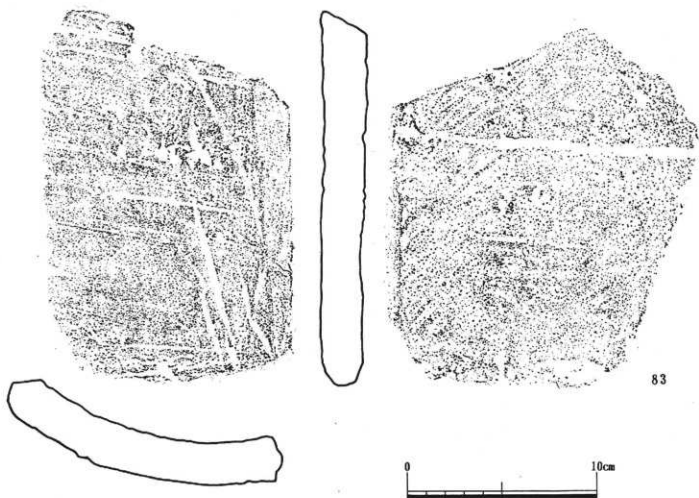
第15図 出土遺物(7)



第16圖 出土遺物 (8)



第17図 出土遺物(9)



第18図 出土遺物 (10)

9. まとめ

今回の調査の結果、調査対象地は北から伸びた微高地の南端部に立地していることが判明し、この部分で小規模な掘立柱建物址1棟、土坑、溝等の遺構若干を検出するに留まった。しかし南半部で検出された遺物包含層からは11世紀後半と考えられる遺物が数多く出土し、貴重な資料を得ることができた。

またこれらの遺物に混じて、少数であるが緑釉陶器・布目瓦が出土したことは、調査地周辺に寺院あるいは官衙的要素を含んだ遺跡が存在する可能性を考えさせるものとして、注目される。

表1 出土遺物観察表

No.	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	出土位置	備考
1	土師器 杯	底径 7.5	外底面糸切	外-灰白 2.5Y8/2 ~灰黄色 2.5Y7/2 内-鈍い黄褐色 10YR7/4	1~2mmの小石、微砂粒を含む	T-2	
2	須恵器 碗	口径 11.0	ヨコナデ	灰白色 N7/1	白色微砂粒を含む	T-2	
3	須恵器 碗	口径 12.6	ヨコナデ	灰白色 N7/1	1~2mmの小石、細砂粒を含む	T-2	
4	須恵器	底径 7.0	外底面へら切 その他はヨコナデ	青灰色 10B6/1	白色微砂粒を含む	T-2	
5	須恵器	底径 9.4	ヨコナデ	外-灰白色 N7 内-灰色 N6	白色微砂粒を含む	T-2	
6	須恵器	底径 13.6	ヨコナデ	灰白色 N7	微砂粒を含む	T-2	
7	須恵器 壺	口径 25.0	ヨコナデ	灰白色 N7	白色微砂粒を含む	T-2	
8	平瓦	厚さ 2.2	凹へら削り 凸-斜格子印き	灰白色 5Y7/1	細砂粒を多く含む	T-2	
9	須恵器 环蓋	口径 12.5	ヨコナデ	外-灰白色 N7 内-灰色 N6	密	T-3	
10	須恵器 环蓋	口径 11.8	ヨコナデ	灰色 N6	密	T-3	
11	須恵器 碗	底径 6.0	外底面糸切 その他はヨコナデ	灰色 N6	微砂粒を含む	T-3	
12	須恵器 碗	底径 7.0	外底面糸切 その他はヨコナデ	灰色 N8	密	T-3	
13	須恵器 碗	底径 7.2	外底面糸切 内底面不定方向ナデ その他はヨコナデ	灰白色 N7	微砂粒を含む	T-3	
14	須恵器 碗	底径 6.0	外底面糸切 内底面不定方向ナデ その他はヨコナデ	灰色 N8	微砂粒を含む	T-5	
15	須恵器 碗	底径 5.4	外底面糸切 内底面不定方向ナデ その他はヨコナデ	灰色 N8	微砂粒を含む	T-5	
16	須恵器 碗	底径 6.0	外底面糸切 その他はヨコナデ	灰色 N8	微砂粒を含む	T-5	
17	土師器 底部	底径 12.0	外底面糸切 その他はヨコナデ	外-浅黄褐色 7.5YR8/3 内-鈍い黄褐色 10YR7/4	赤色微粒子を含む	T-6	
18	須恵器 底部	底径 6.8	外底面削り出し高台 その他はヨコナデ	灰白色 7.5Y7/1	黒色微粒子を含む	T-6	外面部分的に自然釉がかかる

No.	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	出土位置	備考
19	土師器 碗	口径 13.0	外-ヨコナデ 内-はけ目、口縁部ヨコ ナデ	外-鈍い褐色 7.5YR6/3 内-灰褐色 7.5YR5/2	密	T-7	
20	土師器 皿	口径 8.0 器高 1.9 底径 4.0	摩耗のため不明	外-褐色 5YR7/5 内-浅黄褐色 7.5YR8/4	密	T-7	
21	須恵器 碗	口径 14.0	ヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-8 溝	
22	須恵器 碗	口径 10.4	ヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-8 溝	
23	須恵器 碗	底径 6.2	外底面糸切 その他はヨコナデ	灰白色 N7	微細砂粒を含む	T-8 溝	
24	須恵器 碗	底径 6.6	外底面糸切 その他はヨコナデ	灰白色 N7	1~2mmの小石、微細砂粒 を含む	T-8 溝	
25	須恵器 碗	底径 6.2	外底面糸切り接貼り付け 高台 高台 内底面不定方向ナデ その他はヨコナデ	灰白色 7.5Y7/1	密	T-8 溝	
26	須恵器 鉢	口径 25.8	ヨコナデ	外-灰色 N5 内-灰色 N6	1~3mmの小石、微細砂粒 を含む	T-8 溝	
27	須恵器 鉢	口径 24.4	ヨコナデ	灰色 N6	密	T-8 溝	
28	土師器 皿	口径 12.6 器高 2.4 底径 6.0	ヨコナデ	浅黄褐色 10YR8/3	微細砂粒を含む	T-8 土坑	
29	土師器 羽釜	口径 25.0	ヨコナデ	外-灰白色 7.5YR8/2 内-褐色 5YR6/5	石英粒、細砂粒を多く含む	T-8 土坑	
30	土師器 土埴	口径 18.0	外-口縁部ハケ その他はヨコナデ	外-鈍い褐色 7.5YR7/3 内-鈍い褐色 7.5YR5/3	石英粒、細砂粒を多く含む	T-8 土坑	
31	須恵器 碗	口径 10.6	ヨコナデ	灰色 N7	微細砂粒を含む	T-8 土坑	
32	須恵器 碗	口径 16.2	ヨコナデ	灰色 N6.5	微細砂粒を含む	T-8 土坑	
33	土師器 皿	口径 9.6 器高 1.7 底径 6.0	摩耗のため不明	外-浅黄褐色 10YR8/3 内-褐色 2.5YR6/5	細砂粒を含む	T-14	
34	土師器 碗	口径 15.4	摩耗のため不明	外-浅黄褐色 10YR8/3 内-明褐色 7.5YR7/2	細砂粒を含む	T-14	
35	土師器 土埴	口径 28.4	外-ハケ 内-口縁端部ヨコナデ	外-褐色 7.5YR4/1 内-鈍い褐色 7.5YR1/4	1~3mmの小石、細砂粒を 多く含む	T-14	

No.	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	出土位置	備考
36	土師器 底部	底径 5.6	外底面糸切り その他はヨコナデ	鈍い橙色 5YR4/1	微砂粒を含む	T-14	
37	土師器 底部	底径 5.8	外底面へら切り その他はヨコナデ	褐色 7.5YR7/6	密	T-14	
38	須恵器 碗	口径 12.6	ヨコナデ	灰白色 N7	密	T-14	
39	須恵器 碗	口径 11.0	ヨコナデ	灰色 7.5Y6/5	密	T-14	
40	須恵器 碗	口径 9.6	ヨコナデ	灰白色 N7	微砂粒を含む	T-14	
41	須恵器 碗	底径 5.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	外-灰白色 N8 内-灰白色 N7	1~2mmの小石、微砂粒を含む	T-14	
42	須恵器 碗	底径 5.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 N7	1~2mmの小石、微砂粒を含む	T-14	
43	緑釉陶器	底径 7.0	外底面糸切り後貼り付け 高台 その他はヨコナデ	灰白色 7.5YR8/2	密	T-14	
44	平瓦	厚さ 2.3~2.6	凹-荒い布目 凸-異目	暗灰色 N3	1~2mmの小石を含む	T-14	
45	平瓦	厚さ 2.2~2.6	凹-荒い布目 凸-広い平行叩き	灰白色 N8	微砂粒を含む	T-14	
46	土師器 底部	底径 6.4	外底面糸切り その他はヨコナデ	褐色 5YR6/6	1~2mmの小石を含む	T-15	
47	土師器 底部	底径 5.4	外底面糸切り その他はヨコナデ	浅黄褐色 7.5YR8/6	密	T-15	
48	土師器 底部	底径 7.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	浅黄褐色 7.5YR8/6	密	T-15	
49	土師器 底部	底径 5.5	外底面糸切り 内底面厚耗のため不明 その他はヨコナデ	浅黄褐色 10YR8/4	密	T-15	
50	土師器 底部	底径 6.4	外底面へら切り その他はヨコナデ	浅黄褐色 10YR	小石、砂粒を含む	T-15	
51	土師器 底部	底径 4.8	外底面へら切り 内底面不定方向ナデ	鈍い褐色 7.5YR7/3	細砂粒を含む	T-15	
52	土師器 羽蓋	口径 20.6	厚耗のため不明	灰褐色 7.5YR5/2	1~2mmの小石、細砂粒を含む	T-15	
53	土師器 土溝	口径 27.6	ヨコナデ	外-黄褐色 10YR6/1 内-鈍い黄褐色 10YR7/2	細砂粒を多く含む	T-15	
54	須恵器 坏	口径 11.2	ヨコナデ	灰白色 N8	細砂粒を含む	T-15	

No.	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	出土位置	備考
55	須恵器 碗	口径 13.6	ヨコナデ	灰色 N6	微砂粒を含む	T-15	口縁部内面に自然 釉がかかる
56	須恵器 碗	底径 6.0	外底面糸切り その他はヨコナデ	外-灰色S17/1 内-灰色S16/1	密	T-15	
57	須恵器 碗	底径 5.4	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 N7	微砂粒を含む	T-15	
58	須恵器 碗	底径 4.8	外底面糸切り 内底面不定方向ナデ その他はヨコナデ	灰色 N5	密	T-15	
59	須恵器 碗	底径 5.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-15	
60	須恵器 碗	底径 5.6	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰色S17	微砂粒を含む	T-15	
61	須恵器 碗	底径 5.4	外底面糸切り その他はヨコナデ	外-灰色 N5 内-灰色 N6	微砂粒を含む	T-15	
62	平瓦	厚さ 2.0	凹-ヘラ削り 凸-広い平行叩き	灰色 N4	微砂粒を含む	T-15	
63	平瓦	厚さ 2.0	凹-ヘラ削り 凸-広い平行叩き	灰色 N4	微砂粒を含む	T-15	
64	平瓦	厚さ 2.0	凹-荒い布目 凸-広い平行叩き	灰白色 N7	白色細砂粒を含む	T-15	
65	土師器 底部	底径 6.4	外底面糸切り その他はヨコナデ	外-鈍い黄褐色 10YR7/2 内-褐灰色 7.5YR5/1	微砂粒を含む	T-16	
66	須恵器 坏	口径 9.2	ヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-16	
67	須恵器 碗	底径 7.0	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 10YR/2	微砂粒を含む	T-16	
68	須恵器 碗	底径 6.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 N7	密	T-16	
69	須恵器 碗	底径 6.0	外底面糸切り その他はヨコナデ	外-灰色 N6 内-灰白色 N7	1~3mmの小石を含む	T-16	
70	須恵器 底部	底径 7.2	外底面糸切り後貼り付付 高台 その他はヨコナデ	灰白色 N7.5	微砂粒を含む	T-16	
71	土師器 坏	口径 18.0	ヨコナデ	外-鈍い褐色 7.5YR/4 内-灰白色 10YR/2	微砂粒を少量含む	T-19	
72	土師器 底部	底径 5.8	外底面糸切り	外-鈍い黄褐色 10YR7/4 内-浅黄褐色 10YR8/3	1~3mmの小石、微砂粒を 含む	T-19	
73	土師器 底部	底径 5.8	外底面ヘラ切り	外-浅黄褐色 7.5YR8/4 内-浅黄褐色 10YR8/3	微砂粒を含む	T-19	

No.	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	出土位置	備考
74	土師器 羽釜	口径 12.6	摩耗のため不明	外-褐色 7.5YR6/5 内-鈍い黄褐色 10YR7/4	1~5mmの小石、細砂粒を 多く含む 雲母をわずかに 含む	T-19	
75	須恵器 碗	底径 6.2	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色白色 2.5Y8/1	微砂粒を含む	T-19	
76	須恵器 碗	底径 5.6	外底面糸切り その他はヨコナデ	灰白色 N7	微砂粒を含む	T-19	
77	須恵器 底部	底径 9.2	ヨコナデ	外-青灰色 10B6/1 内-灰白色 N7	小石、細砂粒、雲母を含む	T-19	底部外面に線刻
78	平瓦	厚さ 1.7	凹-荒い布目 凸-斜格子叩き	明青灰色 10B7/1	細砂粒を含む	T-19	
79	須恵器 底部	底径 6.8	外底面糸切り機軸付け高 台 その他はヨコナデ	灰色 N6	密	T-20	
80	土師器 皿	口径 9.2 器高 2.4 底径 5.4	摩耗のため不明	鈍い褐色 5YR7/4	細砂粒を含む	T-22	
81	須恵器 碗	口径 14.6	ヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-22	
82	須恵器 碗	口径 14.4	ヨコナデ	灰白色 N7	細砂粒を含む	T-22	
83	平瓦	厚さ 2.2~2.5	凹-へう削り 布目残る 凸-へう削り 端部面取り	鈍い黄褐色 10YR7/2	1~5mmの小石、細砂粒を 多く含む	T-22	
84	土師器 坏	口径 12.6 器高 3.4 底径 7.4	外底面へう切り その他はヨコナデ	外-灰白色 10YR8/2~ 鈍い褐色 7.5YR7/2 内-灰白色 10YR8/2	微砂粒を含む	T-23 溝	
85	土師器 鉢	口径 27.6	摩耗のため不明	外-浅黄褐色 10YR8/4 内-灰白色 10YR8/2	細砂粒を含む	T-23 溝	

版 図



遺跡周辺航空写真（昭和32年）

T-7 (東から)



T-8 (東から)



T-14 (西から)



T-21 (南から)



T-22 (東から)



拡張区 (西から)



奉安寺遺跡調査報告書

ふりがな	たつおか ささやまいせき							
書名	立岡笹山遺跡							
副書名	造成工事に伴う遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	太子町文化財資料							
シリーズ番号	第57集							
編著者名	三村修次 海野浩幸							
編集機関	太子町教育委員会							
所在地	〒671-1561 摂保郡太子町鵜 1369-1 TEL. 0792-77-1010							
発行年月日	西暦 1999年2月1日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たつおか 立岡笹山遺跡	たつおか 摂保郡太子町立岡 笹山 字笹山	284645		34度 49分 16秒	134度 35分 00秒	1995.4.12~ 1995.4.20 1995.9.11~ 1995.9.18	380.25m ²	造成工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
立岡笹山遺跡	集落	中世	柱穴、溝、土坑 竪立柱建物址1棟		須恵器、土師器、緑釉陶器 布目瓦			

